



生活クラブの家づくり オルタスクエア(株)

住まい通信 No.18

mail: info@a-sq.co.jp HP: http://www.a-sq.co.jp 隔月発行



見学会

築7年の自然住宅の見学会

2軒分の太陽光発電が屋根に載る平屋建て

～磯子区A邸～
(設計担当: 堺原)

日時: 7月11日(土) 13:30~15:00 交通: JR根岸線「洋光台」駅から徒歩8分



7年前に竣工したA邸は、敷地の広さに恵まれたことから憧れの平屋建ての設計。完成前に構造見学会をさせていただき、完成時にも新築見学会を開催させていただきました。それから7年の間、植栽工事や雨水タンク設置で当社をご利用いただき、2年前には、なんと6.8kWという2軒分の太陽光発電とHEMS(ホームエネルギーマネジメントシステム)も設置。そのA邸の7年目の見学会です。設計の工夫を見ていただくことと合わせて、無垢床材や天井材はどのような色合いになっているのか、漆喰は変化しているのか、なども知りたいですね。太陽光発電とHEMSの活躍についてご紹介します。

敷地面積: 306.67㎡ (92.76坪) / 延床面積: 102.45㎡ (30.99坪) その他物置・坪庭あり
屋根: スレートコロニアル葺き、外壁: 防火サイディング、床: バイブ、壁: 漆喰、天井: 杉

* 参加ご希望、お問い合わせはオルタスクエア(株)までご連絡下さい。

Phone 045(476)1105 mail: info@a-sq.co.jp

神奈川区六角橋の土地売却に向けてのお知らせ。

4月のお知らせに対し、皆様からお問合せをいただきありがとうございました。土地の正確な位置と販売価格は、まだオープンに広告できませんが、不当な勧誘や営業の心配は一切ありませんので、オルタスクエア(045-476-1105)までお気軽にお問合せください。不動産担当: 対馬(つしま)より詳しい情報をお知らせします。

- 場所: 神奈川区六角橋5丁目。岸根公園徒歩10分、白楽駅徒歩13分
- 土地予定面積: 約100㎡ 対象物件: 別紙図面の北側角地「★印」
- 用途地域: 第一種低層住居専用地域。建蔽率50%・容積率100%

本土地の所在地は、今年2月25日に「不燃化推進地域」に指定されました。(詳しくは横浜市都市整備局ホームページ) この地域で建物を建てる際には原則として「準耐火建築物」以上とすることが義務付けられるとともに、耐火性能強化のための設計・工事費用について補助があります。



住まい手クラブ 発進!

住まい手クラブ代表 木下青子

オルタスクエアで新築やリフォームを行った生活クラブ組合員の有志5名で「住まい手クラブ」として活動を始めました。どんな家に住むかは、そこに住まう人の生き方そのものです。手始めにメンバーの自宅を訪問したりして、住まいへのこだわりや暮らし方を自由に話し合い共有し合っています。

今回の「春の住まい展」(5/16土)への参加も、今後の活動への糸口でした。とにかく忙しいメンバーばかりで、このとき初めてフルメンバー5名が揃ったのですが、初対面のメンバー同士も不思議な親近感を感じあえたのは、オルタスクエアを選んだという共通性ならではの。住まい展ではブースを持ちながら3つの発表を行いました。



左から、神近、藤原、林、佐野、木下の5名です



相模原市の神近さんご夫妻は「快適な住まいをつくる-我が家の場合-」と題して、なぜオルタスクエアを選んだのか、設計士・工務店との関わり、素敵なDIYなどを発表。川崎の林さんは「暮らし方を選ぶ住まいづくり」。組合員活動で学んだ福祉・環境の知識経験から、それらのテーマを実践できる家を立てたこと、また、実際にお家がさまざまな交流の場となっている様子を紹介してくれました。同じく川崎の佐野さんは「仲間とともに住まいのエコを考える」と題して、新築時にご長男のお部屋を大勢の組合員仲間やご主人も一緒になって珪藻土で塗ったことや、暮らしの中のエコな工夫の発表でした。



息のあったダブルスのような神近さんご夫妻の発表



佐野さんの下の息子さんは、家庭でのリユース・リサイクルを紹介したエコ新聞を製作



林邸は自治会の健康マージャン会場にもなっているとのこと

ユーザー側の生の声を伝えられたことは大きな成果でした。メンバーも募集中ですので、興味のある方は連絡ください。

Phone 045(476)1105 mail: info@a-sq.co.jp



リフォームの現場から

キッチンをお嬢さんのお部屋にリフォーム

鶴見区Fさんから、二つあるキッチンのうち、1階の方をリフォームして、お嬢さんの居室にしたいとのこと
で、うかがってみると南向きで明るい場所でした。ご相談により決まった主な工事内容は以下の通りです。

- ① 既存キッチンと冷蔵庫と茶箆等を撤去。
- ② 床は杉の無垢材に、壁は性能の良いクロスで。
- ③ キッチンがあった場所にはベッドが置けるスペースを確保。
- ④ 旧勝手口の位置にクローゼット。



工事準備中のオルタスクアの河辺さん



リフォーム後



杉無垢材の床に白い壁が美しい素敵な居室になりました！
クローゼットの寸法はベッドが丁度納まるように決めました。
Fさんがコーディネートしたナチュラルな白いカーテン。
腰窓のカーテンはFさんの手作りです。

mail: info@a-sq.co.jp



のぼりとテポで ★★

漆喰DIYと漆喰アートの学習会を開催しました！

5月14日(木)のぼりとテポの集会室で、エッコロ講座「漆喰アートと珪藻土」を開催しました。通常は親子での参加が多い中、今回は大人のみ12名。大変てきぱきと進み、DIYでも参加者全員が、ローラー塗り、鏝(こて)塗り、ゴムベラの応用など、熱心にDIY技術にチャレンジ。漆喰アートは、18cm×23cmくらいの枠の中に、色つきの漆喰を練りこみ、その上に、ナチュラルな飾りを埋め込んでいきます。



DIYをしてくれるのは 懸樋さん

皆さん、地の漆喰にブラシや鏝で模様をつけるなど、さながら、入江長八(江戸末期～明治の左官・鏝絵の名工)のようで、素晴らしい仕上がりでした。コーディネーターの黒田さんには美味しいお昼まで用意していただき、本当にありがとうございました。

漆喰アートは田中さんの指導で、皆さん芸術的な作品が完成！



田中さん

<http://www.a-sq.co.jp/>



山長の森へ 構造材の見学に行ってきました！

5月22日～23日にかけて、オルタスクアとオルタサークルの有志メンバーで和歌山県の山長商店へ見学に行きました。私共が柱や梁といった構造材として使用している杉、ヒノキがどのように育てられ、どのようにして材木になっていくのかを確認するための見学です。

山長商店は、杉・ヒノキを育てる森を所有しながら、製材工場(丸木から角材や板などを作る工場)やプレカット工場(柱、梁をしっかりと組んでいくための継手・仕口の加工をする工場)も所有し、育林から出荷まで一貫した生産体制を確立しています。そうすることで「顔の見える材木」を提供し続けています。



山を歩きながら、山長の森の説明を聞きました

1ヘクタールあたり6,000

本程度植えた苗木は、石が混ざった痩せた土地で競争するように育てられていました。60年程度経過して間伐等で残った木は1,000本程度だそうです。製材～プレカットしていく過程で「山長商店の材木としてふさわしいかどうか」という基準で厳しく選別され、最終的に残った材木は500本にも満たないそうです。

出荷されている材は、強度的に優れ、比重が重く、目が細かく(年輪の間隔が狭い)、節は小さくて少ない優れた製品であることが今回の見学でよくわかりました。製材工場、プレカット工場、共に見学中



伐採現場の見学へ

にすれ違う社員さんは皆礼儀正しく挨拶をされ、黙々と作業をされていました。見学終了後、見学参加メンバーは口を揃えて「真面目な社風が伝わってきた」と話していました。



プレカットされた材木



マイクロ波含水率測定器と動的ヤング係数測定器で材の含水率と強度を測定



山長の森へ材木見学に行きませんか？参加希望人数により見学旅行を検討中です。興味のある方はオルタスクアまでご連絡下さい。

発行：オルタスクア株式会社 協力：オルタサークル
電話：045(476)1105 FAX：045(476)1106